

京都岡本記念病院では、以下の臨床研究を実施しております

承認番号	2025-03
研究課題	下部直腸癌に対する DWI, T2WI 融合画像の CRM、リンパ節転移診断における臨床的意義
研究診療科	消化器外科
研究責任者	工藤道弘（消化器外科 医長）
研究対象となる方	2019 年 4 月から 2025 年 3 月までに、当院にて拡散協調画像 T2強調画像融合イメージを作成した MRI を撮影後に下部直腸癌に対して手術をうけた患者様。
研究期間	2025 年 1 月から 2026 年 3 月

【研究の目的について】

下部直腸癌に対する治療方針を決定する上で、MRI による CRM(腫瘍と周囲臓器との間の距離)、側方リンパ節転移の臨床診断は重要とされています。当院では、MRI 画像の一種である DWI(拡散強調画像)、T2WI(T2 強調画像)を融合した画像を独自に作成し、これを治療前に評価することでより高い臨床成績が得られないか検証を行ってきました。本研究はその成績は、電子カルテ保存データを用いて臨床的意義を検討することを目的としております。

【研究方法について】

当院にて拡散協調画像 T2強調画像融合イメージを作成した MRI 撮影後に下部直腸癌に対して手術を施行した 41 例を対象とします。研究対象者については、以下の臨床情報を診療録より取得する。臨床所見(年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報、腫瘍に関する診断情報など)、血液所見(CBC、白血球分画、肝腎機能、腫瘍マーカーなど)、病理学的所見、画像所見(CT, MRI, レントゲン検査など)、手術所見、入院経過

【研究計画書に関する資料を入手・閲覧する方法】

他の患者さんの個人情報等に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連する資料を閲覧できます。ご希望の場合、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

【個人情報の保護について】

個人のデータは、誰のデータか分からなくした状態で保護します。研究結果の発表の際も、個人が特定されない形で行います。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究へ情報提供を希望されない場合はお申し出ください。希望されない場合でも、研究に参加しなくても、今後のあなたの治療において不利益になるようなことはありません。ただし、同意を取り消した時すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などのように、調査結果などを破棄することができない場合があります。

「お問い合わせ先」

京都岡本記念病院 臨床研究センター

☎ 0774-48-5500(病院代表)

月～金曜 9時～17時(祝日を除く)